

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第2回弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
開 催 年 月 日	平成31年3月26日(火)	
開 始 ・ 終 了 時 刻	10時00分 から 11時10分まで	
開 催 場 所	弘前市役所市民防災館3階 防災会議室	
議 長 等 の 氏 名	弘前大学名誉教授 長谷川 成一	
出 席 者	会 長	長谷川 成一
	委 員	福井 敏隆
	委 員	今井 二三夫
	委 員	石場 久子
	委 員	小笠原 清寿
	委 員	澤口 正光
	委 員	堀内 弦
	委 員	関 光博
	委 員	工藤 哲彦
	委 員	柳田 穰
	委 員	野呂 忠久
欠 席 者	委 員	須藤 龍哉
	委 員	岡前 憲秀
	委 員	増田 仁
事 務 局 職 員 の 名 職 氏 名	都市政策課長	天内 隆範
	都市政策課長補佐	小山内 孝紀
	都市政策課主幹兼計画係長	宮本 洋
	都市政策課主査	佐々木 美子
	都市政策課主事	工藤 寛明
	文化財課長	成田 正彦
	文化財課長補佐	神 弘樹
	文化財課主幹兼文化財保護係長	小石川 透
	文化財課主事	佐藤 俊介
関 係 人 出 席 者	青森県都市計画課 都市計画・景観グループ 主幹 浅利 洋信	
会 議 の 議 題	会 議 案件 計画進捗評価について	

会 議 結 果	別添議事録のとおり
会 議 資 料 の 名 称	資料1 最終評価シート (案) 資料2 今後のスケジュール等について
会 議 内 容 (発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等)	別添議事録のとおり
その他必要事項	・公開

平成30年度 歴史的風致維持向上計画推進協議会議事録

日時：平成31年3月26日（火） 午前10時～

場所：弘前市役所市民防災館3階 防災会議室

【会議】 案件 計画進捗評価について

◎説明事項

事務局より平成30年度弘前市歴史的風致維持向上計画の進捗評価(資料1)、今後のスケジュール(資料2)に沿って説明

<委員からの意見>

【関 委員】 進捗評価シート1ページ、副市長をトップとする「庁内推進会議」について、会議の様子はホームページで確認できるか。

【事務局:宮本主幹】 ホームページ上には掲載していない。計画策定時の体制である。

【関 委員】 これから第2期計画を進めていくうえで、「庁内推進会議」の内容もホームページで公表すべきである。

【長谷川 会長】 委員からの要望として事務局は検討をお願いします。他に質疑は。

【関 委員】 7ページ、市民中央広場整備事業の補償契約箇所とはどういう意味か。また、残されている建物の交渉の進捗はどのようになっているか。

【事務局:天内課長】 補償契約箇所は、今更地になっている場所である。補償とは、土地の買収や、借家の方の場合は移転費用等も含むものである。補償契約箇所とは全て補償が終わった場所という意味である。現在残っている建物の所有者とは交渉中であり、県道の補償と合わせて話をしていきたい。

【関 委員】 残っている建物について具体的に撤去のスケジュールは決まっているのか。

【事務局:天内課長】 合意に至っていないため不明だが、強制的にではなく丁寧に説明し、早めに取得したい。

【関 委員】 早く事業が進むよう要望する。

【長谷川 会長】 粘り強い交渉をお願いしたい。質問は他にないか。

【工藤 委員】 4ページの「木村産業研究所」、5ページの「藤田家別邸」について、建物名だけでなく、設計者の名前も記載してはどうか。弘前市民はわかるが、国の人は知らないのではないか。

【事務局：宮本主幹】 記載内容は国と調整済みであるため、これ以上の追記は検討していない。

【工藤 委員】 13ページ、「津軽塗技術伝承保存事業」について、「後継者育成」とは、全く津軽塗に従事したことのない人を対象としているのか、それともある程度経験のある人を対象としているのか。

【事務局：小石川主幹】 津軽塗技術伝承保存は、平成29年10月に津軽塗が国の重要無形文化財に指定された保持団体である。全くの初心者を対象としたものではなく、ある程度技術を持った人を対象としている。職人の方が自分の不足している技術を学ぶために研修を受けている。

【工藤 委員】 16ページに「藤原信政」、「津軽為信」とあるが、一族ではないのか。

【事務局：小石川主幹】 ③の「藤原信政公霊所」とは、旧岩木町時代に文化財指定された指定名称である。⑤の「津軽為信霊屋」というのは、重要文化財指定された時の指定名称である。それぞれ指定名称で表記しており、ご存知のとおり一族である。

【長谷川 会長】 他には。

【福井 委員】 市民中央広場整備はもう少しで完了なので、事業の完遂について事務方では引き続きがんばって欲しい。

10ページ、追手門広場改修事業について、毎年タイルが破損し、補修している。舗装を変える等、損傷しづらい工法にしてはどうか。

【事務局：天内課長】 タイル補修は来館者の安全性確保のための対応である。現在、観光館のリニューアルを検討しており、観光館のあり方、旧市立図書館の景観等も

含め、エリア一体で検討している。その中で委員がおっしゃるような壊れにくい素材等の対応も可能と考える。

【福井 委員】 5ページ、藤田家別邸において、冠木門の補修等行っているが、中で展示している資料が古くなっている。多くの方が訪れており、指摘を受けたことがある。資料の見直しを検討して欲しい。

【事務局：天内課長】 所管課に伝え、検討する。

【長谷川 会長】 全体について、これまでふるさとの歴史的景観を活用という観点から事業を進めてきた。例えば8ページ、伝統的建造物群保存地区地方道改修事業について、実際に住んでいる住民の方々はどのように受け止めているのか。今後の参考に市民の意見を聴きたい。今井委員どうか。

【今井 委員】 保存地区の会長を務めている。地区指定から40年が経過する。40年前に地区指定をする際、市から住民に「市内で最も住みやすい地区を目指す」と説明があった。「道路改良」、「電柱の地下埋設」、「融雪溝の設置」を謳っていたが、今ようやく完成するため、住民は非常に喜んでいる。石畳風舗装は少し問題があり、除雪車が入ると小石が散乱し、住民で清掃している。これも、市で新たな対処法を検討、対応してくれており、住民は喜んでいる。地区住民として、この事業は大変評価している。

【長谷川 会長】 40年来の約束が果たされたということで、嬉しい声が聴けた。今後も進めて行って欲しい。他に質疑等ある方は。

【関 委員】 22ページ、二の丸情報館の記事を掲載した新聞は陸奥新報だけなのか。他の新聞でも取り上げてもらうよう、働きかけてはどうか。

【事務局：宮本主幹】他にも様々な新聞社に掲載されているが、進捗評価シートに全ては載せきれないため、代表として陸奥新報の記事を取り上げているものである。

【関 委員】 市のホームページにも二の丸情報館が掲載されている。情報館の写真は載っているが迫力が足りない。タッチパネルや動画の一部でいいので、ホームページにも掲載すべきである。素晴らしい施設なので、今後も広くPRに努めてほしい。

【長谷川 会長】 高い評価をいただいた。施設に携わったものとして、嬉しく思う。

関委員、施設の感想はいかがか。

【関 委員】 2回ほど行ったが、大変すばらしい施設である。タッチパネルが面白い。もっとPRするべきである。看板ももっと目立つものにしてはどうか。

【長谷川 会長】 入れ込み客数はどのようになっているか。

【事務局:宮本主幹】 昨年4月20日にオープンし、4月は10日間で3万4千人弱、5月は約1万3千人、6月以降は3～7千人で推移している。

【長谷川 会長】 タッチパネルの使い方が分かりづらいというご高齢の方がいた。看板の話も出たが、今後も使い勝手がよくなるよう、取り組んでいってほしい。他には。

【関 委員】 第2期計画のパブリックコメントを実施していたが、意見はどのようなものか。

【事務局:宮本主幹】 パブリックコメントを1か月実施したが、意見はなかった。

【関 委員】 本協議会を一般に傍聴させるよう要望したが、予定はあるか。

【事務局:宮本主幹】 対応については検討中である。

【関 委員】 傍聴できるよう進めてほしい。

【長谷川 会長】 他に意見はないようなので、今回出された意見については、事務局は必要に応じて進行管理・評価シートに反映させ、修正を行って欲しい。他にも、国からの修正指示が予定されているが、委員の皆様はその確認を事務局と会長である私に一任していただけるか。

(了承)

【長谷川 会長】 皆様から了承をいただいたので、そのように進めたい。案件については以上になる。皆様には会議進行にご協力いただき、感謝する。これをもって閉会とする。

(閉会)